

緊急広報

平成30年7月
八幡浜警察署

大規模災害に備えて ～命を守る行動を～



先般の梅雨前線豪雨では、全国で178人、愛媛県でも26人の死者を出す大災害となってしまいました（7月11日現在）。予想をはるかに超える大雨で、愛媛県でも初めて「**大雨特別警報**」が発令されました。

八幡浜警察署では、自治体や消防等と連携して災害対応に当たり、幸いにも管内では人的被害の発生はありませんでしたが、ただ、これは奇跡的なことだったのかもしれない。現に、千丈川は氾濫寸前でしたし、各地で土砂崩れ、土石流、倒木等が発生し、中には民家の中や直近まで水や土砂が押し寄せた事案も多数ありました。

毎年、全国で大雨等による災害が発生し、尊い命が失われています。今回の豪雨からも分かるように、「**今まで大丈夫だったから今回も大丈夫**」といった考えは**絶対に禁物**です。気象台の発表する気象警報・注意報や自治体が発表する各種避難情報を敏感に察知し、それを「**早期の避難行動**」に結びつけることが極めて重要です。

八幡浜警察署では、今後も関係機関と十分に連携し、災害対応を始めとした各種活動に署員一丸となって取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。



八幡浜市須川奥の土砂崩れの状況



氾濫寸前の千丈川の状況



土砂崩れや浸水など、大規模な災害が予想される場合は、避難勧告が出ていなくても、早めに安全な場所に避難しましょう。

再認識!!!